

# 令和5年度 5学年授業改善プラン

大田区立矢口小学校

## 1. 昨年度の授業改善プランの検証

- 【国語】基礎的な言語能力の定着は進んでいるが、段落の役割について理解し、文章に表すことに課題がある。
- 【社会】都道府県の様子について、地図などの資料からの読み取りに課題がある。
- 【算数】直方体や立方体の平行や垂直について、基本図形の作図の技能に課題がある。
- 【理科】気温の正しい測り方や正しい実験器具の使い方など、基本的な知識・技能の定着に課題がある。

## 2. 大田区学習効果測定の結果

教科	国語			社会			算数			理科		
全体	◎			◆			◆			◆		
観点別	◎	◎	◆	◆	◆	◆	◆	◎	◆	◆	◆	◆
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

- ◎ 正答率平均が目標値を上回った教科・観点
- ◆ 正答率平均が目標値と同程度の教科・観点
- ▽ 正答率平均が目標値を下回った教科・観点

## 3. 各教科の授業改善プラン

### (1) 国語・社会・算数・理科

- 【国語】文章を書く力を身に付けさせるために、テーマに合った内容の作文や理由を明確にした文章を書く機会を多く取り入れる。また、国語の授業だけでなく他教科でも振り返りの充実を図り、文章を書くことへ繰り返し継続的に指導をする。
- 【社会】グラフや資料から必要な情報を正確に読み取る力を育むために、毎時間の発問を工夫し、学級全体で丁寧に確認していく。ICT機器を活用し、資料の提示方法を工夫しながら、社会的事象の因果関係を考察する力、学んだことをすすんで表現する態度の育成を図る。
- 【算数】図形や立体についての基礎的な知識や技能を身に付けさせるために、ICT機器や具体物の活用をして一人一人が確実に内容を理解できるようにする。
- 【理科】実験結果やグラフの読み取り分析を個人で行えるように、問題解決の流れを意識させる授業を行う。条件制御の正しい知識を身に付けたり、問題の解決方法を考えたりすることができるようにするために、個人やグループで実験方法について比較、検討する時間を十分に確保する。

(2) 音楽・図画工作・家庭・体育

【音楽】 

観点別課題(◆)と改善プラン(○)		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>◆身体の成長とともに個人の演技技能について差異が見られる。</p> <p>○歌唱では自己の声の変容について意識させていく。器楽は各楽器の基本技能を復習する。音楽づくりおよび鑑賞ではICT機器を活用する。</p>	<p>◆自己の発想を音楽表現に生かしていくための工夫が必要である。</p> <p>○ICT機器の活用により、多様な考え方を表現にいかしていく。</p>	<p>◆協働的学習の成果が上がっているが、受動的な</p> <p>○発表の機会を設定し、各自が目標をもって学習に取り組ませていく。</p>

【図画工作】

観点別課題(◆)と改善プラン(○)		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>◆一人一人の演技における技能の差が見受けられる。</p> <p>○用具の基本的な使い方を含め演技指導時にICT機器を活用し視覚的に分かりやすい指導を行う。</p>	<p>◆一人一人の発想力や構成力の差が見受けられる。</p> <p>○自分のイメージや表したいことを表現できるように、制作の前に練習や試作の時間を設ける。</p>	<p>◆領域により苦手意識を感じている児童が見受けられる。</p> <p>○作品完成後に鑑賞の時間を取り、自他の作品の良さを知り、一人一人が作り出す喜びを味わう機会とする。</p>

【家庭】

観点別課題(◆)と改善プラン(○)		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>◆手縫いやミシンの指導にあたって、学習の見通しをもつことが難しい。</p> <p>○協同作業を取り入れ、児童同士での理解を深め合う場を設ける。</p>	<p>◆実生活の経験の差があり、家族の一員として、生活を工夫するという意識にばらつきがみられる。</p> <p>○様々な題材において、題材の最初に課題設定(疑問点やできるようにしたいこと)をさせる。</p>	<p>◆家族の一員として、生活をより豊かにするための袋物の製作に対して意欲を高めさせたい。</p> <p>○学習の見通しを持たせるために、学習の最終目標や見通しを提示し、主体的に学習に取り組む態度を養っていく。</p>

【体育】

観点別課題(◆)と改善プラン(○)		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>◆マット運動での回転系や巧技系の基本的な技が習得できていない児童が多い</p> <p>○体づくり運動や様々な場面で動きを取り入れていく。</p>	<p>◆自己の課題を見付け、その解決のための活動を工夫することが苦手な傾向がある。</p> <p>○タブレット端末などを活用して、メタ認知できる工夫をする。</p>	<p>◆場や用具の安全に気を付けられない児童が多い。</p> <p>○場や用具について、考えさせたり、細かく指導したりする中で身に付けさせていく。</p>